

BCGワクチン 予防接種説明書

<結核の予防>

☺結核とは？

結核菌の感染で発症します。日本における結核はかなり減少しましたが、まだ2万人を超える患者が毎年発生している為、大人から子供へ感染することも少なくありません。また、結核に対する抵抗力はお母さんからもらう事ができませんので、生まれたばかりの赤ちゃんがかかる心配もあります。乳幼児は結核に対する抵抗力が弱く、全身性の結核にかかったり、結核性髄膜炎になることもあり、重い後遺症を残す可能性があります。

これらの病気を防ぐために行われるのがBCGワクチン予防接種です。

☺接種方法について

BCGワクチン（生ワクチン）

BCGワクチンワクチンは牛型結核菌を弱毒化した生ワクチンです

対象年齢：接種時点で竹富町の住民である 1歳未満のお子さん

標準的な接種期間：生後5月に達した時から生後8月に達するまでの期間

回数：1回のみ

接種方法：経皮

☺接種後の注意・副反応について

- 1.BCG予防接種をしたところは、自然に乾くまで触ったり、衣類をつけたりしないでください。
- 2.接種後、十分に接種部位を乾燥させた後であれば入用は差し支えありませんが、接種した所をこすったり、ひっかいたりしないでください。
- 3.接種後、10日程度後に赤いポツポツしたふくらみができ、一部に小さなうみができることがあります。この症状は、接種後4週間後に最も強くなりますが、その後はかさぶたになり、3～4か月後にかさぶたが落ちるときれいになります。赤いふくらみがあるときは、揉んだり、ひっかいたりしないでください。
- 4.副反応としては、摂取した側のわきの下のリンパ節がまれに腫れる事があります。通常放置して様子を見ても構いませんが、時にただれたり、大変大きく腫れたり、まれに化膿して自然にやぶれてうみがでることがあります。このような時は医師に相談してください。
- 5.お子さんが結核にかかったことがある場合は、接種後10日後以内にBCG接種をしたところに上記のような反応が起こる事があります。これをコッホ現象と言います。コッホ現象と思われる反応が見られた場合には、接種した医療機関に連絡してください。

予防接種に関するお問い合わせ 竹富町役場 健康づくり課



初回接種の月齢・年齢	接種回数 	接種スケジュール
生後2か月～6か月	4回 	初回
生後7か月～11か月	3回	生後に4回目*
満1歳～4歳	1回	1回のみ

ヒブ（H i b）ワクチン予防接種は、
法律に基づいて受ける定期接種です。

この説明書をよく読んで理解し、十分に医師から説明を
受けたうえで予防接種を受けてください。

